

【専門分野】

科目	単位	時間数	配当年次	学期	担当者
基礎看護学実習Ⅰ	2	90	1	1.2	各実習担当者(教員)

実習目的

入院している対象をとりまく環境および対象の健康を支える職種について理解できる。
対象を取り巻く生活環境および日常生活上のニーズを理解し、原理・原則に基づいて日常生活援助が実施できる。

実習目標

【基礎看護学実習Ⅰ－①】 30時間

1. 対象を取り巻く環境が理解できる。
2. 入院している対象を支援する職種とその役割を理解できる。

実習日数	実習内容		
臨地実習：3日間	1日間	病棟実習	病棟およびベッドサイドの環境を見学して学ぶ
	2日間	他部署での実習	外来および他部署を見学して学ぶ 1か所の部署で活動の実際を学ぶ
学内実習：1日間	3日間の臨地実習の学びをまとめ、共有する		

【基礎看護学実習Ⅰ－②】 60時間

1. 対象の基本的ニーズを理解できる。
2. 対象にとって快適で安全な生活環境を調整できる。
3. 対象への日常生活援助を原理・原則に基づき安全に実施できる。
4. 看護者としての望ましい態度を身につけることができる。

実習日数	実習内容	
臨地実習：6日間	実習目標に基づき実習を行い、対象に日常生活援助を実施する	
学内実習：2日間	1日目	5日間の臨地実習の記録の整理、学びをまとめる
	2日目	5日間の臨地実習の学びをまとめ、共有する

授業形態	実習
評価方法	履修規程第6条、第12条、第13条、第14条に定めるとおりとする 観察、口頭、諸記録などを、評価表を用いて総合的に評価する
その他	

【専門分野】

科 目	単位	時間数	配当年次	学期	担 当 者						
基礎看護学実習Ⅱ	2	90	2	1	各実習担当者(教員)						
実習目的											
健康障害をもつ対象のニードを理解し、ニードの充足および健康問題の解決に向けた日常生活援助が実施できる。											
実習目標											
1. 健康障害をもつ対象のニードの充足状況が理解できる。 2. 対象のニードの充足、健康問題の解決に向けた日常生活援助を安全・安楽・自立を考え実施できる。 3. 実施した援助の効果や影響を評価できる。 4. 看護者としての望ましい態度を身につけることができる。											
<table><tr><th>実習日数</th><th>実習内容</th></tr><tr><td>臨地実習：11日間</td><td>実習目標に基づき実習を行い、対象に日常生活援助を実施する</td></tr><tr><td>学内実習：1日間</td><td>11日間の臨地実習の学びをまとめ、共有する</td></tr></table>						実習日数	実習内容	臨地実習：11日間	実習目標に基づき実習を行い、対象に日常生活援助を実施する	学内実習：1日間	11日間の臨地実習の学びをまとめ、共有する
実習日数	実習内容										
臨地実習：11日間	実習目標に基づき実習を行い、対象に日常生活援助を実施する										
学内実習：1日間	11日間の臨地実習の学びをまとめ、共有する										
授業形態	実習										
評価方法	履修規程第6条、第12条、第13条、第14条に定めるとおりとする 観察、口頭、諸記録などを、評価表を用いて総合的に評価する										
その他											

【専門分野】

科 目	単位	時間数	配当年次	学期	担 当 者																
地域・在宅看護論実習Ⅰ	1	45	3	1.2	各実習担当者(教員)																
実習目的																					
地域で生活しながら治療・療養を継続する対象を理解し、対象を支える外来看護や地域連携の役割と機能を理解できる。																					
実習目標																					
1. 地域で生活しながら継続治療・療養する対象を理解できる。 2. 継続治療を支援する外来看護が理解できる。 3. 継続治療・療養する対象を支援する地域連携の役割と機能が理解できる。 4. 看護者としての望ましい態度がとれる。																					
<table><tr><th>実習日数</th><th colspan="3">実習内容</th></tr><tr><td rowspan="3">臨地実習：5日間</td><td>3日間</td><td>外来実習</td><td rowspan="3">実習目標に基づき、実習を行う</td></tr><tr><td>1日間</td><td>化学療法室実習</td></tr><tr><td>1日間</td><td>地域連携室実習</td></tr><tr><td>学内実習：1日間</td><td colspan="3">5日間の臨地実習の学びをまとめ、共有する</td></tr></table>						実習日数	実習内容			臨地実習：5日間	3日間	外来実習	実習目標に基づき、実習を行う	1日間	化学療法室実習	1日間	地域連携室実習	学内実習：1日間	5日間の臨地実習の学びをまとめ、共有する		
実習日数	実習内容																				
臨地実習：5日間	3日間	外来実習	実習目標に基づき、実習を行う																		
	1日間	化学療法室実習																			
	1日間	地域連携室実習																			
学内実習：1日間	5日間の臨地実習の学びをまとめ、共有する																				

【専門分野】

科 目	単位	時間数	配当年次	学期	担 当 者																			
地域・在宅看護論実習Ⅱ	2	90	3	1.2	各実習担当者(教員)																			
実習目的																								
地域で生活する対象とその家族を理解し、個々の生活と健康に応じた看護が理解できる。																								
実習目標																								
1. 地域で療養している対象とその家族が理解できる。 2. 療養する対象の個々の身体状況や生活に応じた援助が理解できる。 3. 地域で生活する人々の健康を支える多職種の連携・協働、社会資源の活用について理解できる。 4. 看護者としての望ましい態度がとれる。																								
<table><tr><th>実習日数</th><th colspan="3">実習内容</th></tr><tr><td rowspan="3">臨地実習：10日間</td><td>4日間</td><td>訪問看護実習</td><td rowspan="3">実習目標に基づき、実習を行う</td></tr><tr><td>4日間</td><td>介護老人福祉施設実習</td></tr><tr><td>2日間</td><td>地域包括支援センター実習</td></tr><tr><td rowspan="2">学内実習：2日間</td><td>1日間</td><td colspan="2">訪問看護実習での学びをまとめる</td></tr><tr><td>1日間</td><td colspan="2">臨地実習での学びをまとめ、共有する</td></tr></table>						実習日数	実習内容			臨地実習：10日間	4日間	訪問看護実習	実習目標に基づき、実習を行う	4日間	介護老人福祉施設実習	2日間	地域包括支援センター実習	学内実習：2日間	1日間	訪問看護実習での学びをまとめる		1日間	臨地実習での学びをまとめ、共有する	
実習日数	実習内容																							
臨地実習：10日間	4日間	訪問看護実習	実習目標に基づき、実習を行う																					
	4日間	介護老人福祉施設実習																						
	2日間	地域包括支援センター実習																						
学内実習：2日間	1日間	訪問看護実習での学びをまとめる																						
	1日間	臨地実習での学びをまとめ、共有する																						
授業形態	実習																							
評価方法	履修規程第6条、第12条、第13条、第14条に定めるとおりとする 観察、口頭、諸記録などを、評価表を用いて総合的に評価する																							
その他																								

【専門分野】

科 目	単位	時間数	配当年次	学期	担 当 者						
成人・老年看護学実習Ⅰ	2	90	2	2	各実習担当者(教員)						
実習目的											
急性期にある対象の特徴を理解し、生命維持と健康回復に向けた看護が実践できる。											
実習目標											
1. 急性期にある対象の特徴が理解できる。 2. 急性期における治療、検査、処置が理解できる。 3. 急性期における症状をアセスメントし変化を予測した援助の必要性が理解できる。 4. 症状や治療に伴う苦痛の緩和ができる。 5. 急性期にある対象と家族の不安緩和の必要性が理解できる。 6. 急性期から回復期にむかう対象の自立に向けた日常生活援助ができる。											
<table><tr><th>実習日数</th><th>実習内容</th></tr><tr><td>臨地実習：11日間</td><td>実習目標に基づき実習を行い、生命維持と健康回復に向けた看護を実施する</td></tr><tr><td>学内実習：1日間</td><td>11日間の臨地実習の学びをまとめ、共有する</td></tr></table>						実習日数	実習内容	臨地実習：11日間	実習目標に基づき実習を行い、生命維持と健康回復に向けた看護を実施する	学内実習：1日間	11日間の臨地実習の学びをまとめ、共有する
実習日数	実習内容										
臨地実習：11日間	実習目標に基づき実習を行い、生命維持と健康回復に向けた看護を実施する										
学内実習：1日間	11日間の臨地実習の学びをまとめ、共有する										

【専門分野】

科 目	単 位	時間数	配当年次	学期	担 当 者						
成人・老年看護学実習Ⅱ	2	90	2	2	各実習担当者(教員)						
実習目的											
慢性期にある対象の特徴を理解し、疾患の増悪を防ぎ、セルフケア確立に向けての援助ができる。											
実習目標											
1. 慢性期にある対象を総合的にとらえ、理解できる。 2. 対象の疾患の増悪を防ぎ、セルフケア確立に向けた援助ができる。 3. 実施した援助の効果や影響を評価できる。 4. 看護者としての望ましい態度を身につけることができる。											
<table><tr><th>実習日数</th><th>実習内容</th></tr><tr><td>臨地実習：11日間</td><td>実習目標に基づき実習を行い、慢性期にある対象に必要な援助を実施する</td></tr><tr><td>学内実習：1日間</td><td>11日間の臨地実習の学びをまとめ、共有する</td></tr></table>						実習日数	実習内容	臨地実習：11日間	実習目標に基づき実習を行い、慢性期にある対象に必要な援助を実施する	学内実習：1日間	11日間の臨地実習の学びをまとめ、共有する
実習日数	実習内容										
臨地実習：11日間	実習目標に基づき実習を行い、慢性期にある対象に必要な援助を実施する										
学内実習：1日間	11日間の臨地実習の学びをまとめ、共有する										

【専門分野】

科 目	単 位	時間数	配当年次	学期	担 当 者						
成人・老年看護学実習Ⅲ	2	90	3	1.2	各実習担当者(教員)						
実習目的											
周手術期にある対象の特徴を理解し、早期回復に向けた援助ができる。											
実習目標											
1. 周手術期にある対象を総合的にとらえ、理解できる。 2. 術前～術後を通して術後合併症の予防、回復を促進する援助ができる。 3. 手術による身体変化の受容、社会復帰に向けた援助ができる。 4. 看護者としての望ましい態度がとれる。											
<table><tr><th>実習日数</th><th>実習内容</th></tr><tr><td>臨地実習：11日間</td><td>実習目標に基づき実習を行い、周手術期にある対象に必要な援助を実施する</td></tr><tr><td>学内実習：1日間</td><td>11日間の臨地実習の学びをまとめ、共有する</td></tr></table>						実習日数	実習内容	臨地実習：11日間	実習目標に基づき実習を行い、周手術期にある対象に必要な援助を実施する	学内実習：1日間	11日間の臨地実習の学びをまとめ、共有する
実習日数	実習内容										
臨地実習：11日間	実習目標に基づき実習を行い、周手術期にある対象に必要な援助を実施する										
学内実習：1日間	11日間の臨地実習の学びをまとめ、共有する										

【専門分野】

科 目	単位	時間数	配当年次	学期	担 当 者						
成人・老年看護学実習Ⅳ	2	90	3	1.2	各実習担当者(教員)						
実習目的											
終末期にある対象の特徴を理解し、最期まで自分らしく生きられるよう援助ができる。											
実習目標											
1. 終末期にある対象を総合的にとらえ、理解できる。 2. 終末期にある対象の苦痛緩和への援助ができる。 3. 終末期にある対象が最後まで自分らしく生きられるよう援助できる。 4. 看護者としての望ましい態度がとれる。											
<table><tr><th>実習日数</th><th>実習内容</th></tr><tr><td>臨地実習：11日間</td><td>実習目標に基づき実習を行い、終末期にある対象に必要な援助を実施する</td></tr><tr><td>学内実習：1日間</td><td>11日間の臨地実習の学びをまとめ、共有する</td></tr></table>						実習日数	実習内容	臨地実習：11日間	実習目標に基づき実習を行い、終末期にある対象に必要な援助を実施する	学内実習：1日間	11日間の臨地実習の学びをまとめ、共有する
実習日数	実習内容										
臨地実習：11日間	実習目標に基づき実習を行い、終末期にある対象に必要な援助を実施する										
学内実習：1日間	11日間の臨地実習の学びをまとめ、共有する										

【専門分野】

科 目	単位	時間数	配当年次	学期	担 当 者																				
小児看護学実習	2	90	3	1.2	各実習担当者(教員)																				
実習目的																									
小児各期にある対象とその家族を理解し、成長・発達や健康障害に応じた援助ができる。																									
実習目標																									
【健康な小児】 1. 健康な乳幼児期にある対象の成長・発達が理解できる。 2. 乳幼児期にある対象の成長・発達にあわせた保育が理解できる。																									
【健康障害のある小児】 1. 健康障害をもつ小児期にある対象を総合的にとらえ、理解できる。 2. 小児期にある対象の成長・発達や健康障害に応じた援助ができる。																									
<table><tr><td>実習日数</td><td colspan="5">実習内容</td></tr><tr><td rowspan="2">臨地実習：11日間</td><td>4日間</td><td>幼稚園実習</td><td colspan="3" rowspan="2">実習目標に基づき、実習を行う</td></tr><tr><td>8日間</td><td>病棟実習</td></tr><tr><td>学内実習：1日間</td><td>1日間</td><td colspan="4">11日間の臨地実習の学びをまとめ、共有する</td></tr></table>						実習日数	実習内容					臨地実習：11日間	4日間	幼稚園実習	実習目標に基づき、実習を行う			8日間	病棟実習	学内実習：1日間	1日間	11日間の臨地実習の学びをまとめ、共有する			
実習日数	実習内容																								
臨地実習：11日間	4日間	幼稚園実習	実習目標に基づき、実習を行う																						
	8日間	病棟実習																							
学内実習：1日間	1日間	11日間の臨地実習の学びをまとめ、共有する																							
授業形態	実習																								
評価方法	履修規程第6条、第12条、第13条、第14条に定めるとおりとする 観察、口頭、諸記録などを、評価表を用いて総合的に評価する																								
その他																									

【専門分野】

科 目	単位	時間数	配当年次	学期	担 当 者																				
母性看護学実習	2	90	3	1.2	各実習担当者(教員)																				
実習目標																									
周産期における対象の特徴を理解し、妊婦・産婦・褥婦および新生児の健康の保持・増進のための看護が理解できる。																									
実習目的																									
1. 周産期における対象(妊婦・産婦・褥婦・新生児)の身体的・精神的・社会的特徴を理解することができる。 2. 正常な経過をたどる妊婦・産婦・褥婦および新生児の看護の必要性が理解できる。 3. 妊婦・褥婦および家族に対する保健指導について考えることができる。 4. 母子相互作用および父親・母親役割を取得する過程が理解できる。 5. 妊婦・産婦・褥婦および新生児の看護を通して、継続看護について理解できる。 6. 生命誕生と尊厳について自己の考えを述べることができる。																									
<table><tr><th>実習日数</th><th colspan="3">実習内容</th></tr><tr><td rowspan="2">臨地実習：9日間</td><td>5日間</td><td>病棟実習</td><td rowspan="2">実習目標に基づき、実習を行う</td></tr><tr><td>4日間</td><td>助産外来実習</td></tr><tr><td rowspan="3">学内実習：3日間</td><td>1日間</td><td>分娩期の看護について学習し、ロールプレイ演習する</td><td></td></tr><tr><td>1日間</td><td>産褥期の看護について学習し、ロールプレイ演習する</td><td></td></tr><tr><td>1日間</td><td>臨地実習の学びをまとめ、共有する</td><td></td></tr></table>						実習日数	実習内容			臨地実習：9日間	5日間	病棟実習	実習目標に基づき、実習を行う	4日間	助産外来実習	学内実習：3日間	1日間	分娩期の看護について学習し、ロールプレイ演習する		1日間	産褥期の看護について学習し、ロールプレイ演習する		1日間	臨地実習の学びをまとめ、共有する	
実習日数	実習内容																								
臨地実習：9日間	5日間	病棟実習	実習目標に基づき、実習を行う																						
	4日間	助産外来実習																							
学内実習：3日間	1日間	分娩期の看護について学習し、ロールプレイ演習する																							
	1日間	産褥期の看護について学習し、ロールプレイ演習する																							
	1日間	臨地実習の学びをまとめ、共有する																							
授業形態	実習																								
評価方法	履修規程第6条、第12条、第13条、第14条に定めるとおりとする 観察、口頭、諸記録などを、評価表を用いて総合的に評価する																								
その他																									

【専門分野】

科 目	単 位	時間数	配当年次	学期	担 当 者																
精神看護学実習	2	90	3	1.2	各実習担当者(教員)																
実習目的																					
こころの健康に問題をもつ対象とその家族を理解し、精神の健康保持・増進・回復過程に応じた援助ができる。																					
実習目標																					
1. こころの健康に問題をもつ対象とその家族について総合的にとらえ理解できる。 2. 対象のセルフケアレベルを判断し、必要な援助ができる。 3. 対象との関係を構築するとともに、そのプロセスを内省できる。 4. 対象の安全や人権を守るための管理上の特徴が理解できる。 5. 精神医療におけるチーム医療と社会資源について述べられる。																					
<table><tr><th>実習日数</th><th colspan="3">実習内容</th></tr><tr><td rowspan="3">臨地実習：11日間</td><td>9日間</td><td>病棟実習</td><td rowspan="3">実習目標に基づき、実習を行う</td></tr><tr><td>1日間</td><td>デイケアセンター実習</td></tr><tr><td>1日間</td><td>作業所実習</td></tr><tr><td>学内実習：1日間</td><td colspan="3">11日間の臨地実習の学びをまとめ、共有する</td></tr></table>						実習日数	実習内容			臨地実習：11日間	9日間	病棟実習	実習目標に基づき、実習を行う	1日間	デイケアセンター実習	1日間	作業所実習	学内実習：1日間	11日間の臨地実習の学びをまとめ、共有する		
実習日数	実習内容																				
臨地実習：11日間	9日間	病棟実習	実習目標に基づき、実習を行う																		
	1日間	デイケアセンター実習																			
	1日間	作業所実習																			
学内実習：1日間	11日間の臨地実習の学びをまとめ、共有する																				

【専門分野】

科 目	単位	時間数	配当年次	学期	担 当 者																
看護の統合と実践実習	2	90	3	2	各実習担当者(教員)																
実習目的																					
各看護学で学んだ知識・技術・態度を統合し、看護チームの一員として看護が実践できる。																					
実習目的																					
1. 複数の患者に対し、24時間の療養生活を支える援助ができる。 2. 看護チームの一員としての役割を理解し、行動できる。 3. 各看護単位における看護管理の実際が理解できる。 4. 看護専門職者としての自己の課題と目標を具体的に表現できる。																					
<table><tr><th>実習日数</th><th colspan="4">実習内容</th></tr><tr><td rowspan="4">臨地実習：12日間</td><td>9日間</td><td rowspan="4">病棟実習</td><td>複数受け持ち実習</td><td rowspan="4">実習目標に基づき、実習を行う</td></tr><tr><td>1日間</td><td>夜間実習</td></tr><tr><td>1日間</td><td>リーダー実習</td></tr><tr><td>1日間</td><td>看護管理実習</td></tr></table>						実習日数	実習内容				臨地実習：12日間	9日間	病棟実習	複数受け持ち実習	実習目標に基づき、実習を行う	1日間	夜間実習	1日間	リーダー実習	1日間	看護管理実習
実習日数	実習内容																				
臨地実習：12日間	9日間	病棟実習	複数受け持ち実習	実習目標に基づき、実習を行う																	
	1日間		夜間実習																		
	1日間		リーダー実習																		
	1日間		看護管理実習																		